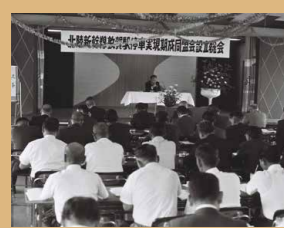




北陸新幹線敦賀開業

北陸新幹線敦賀開業までのあゆみ



1972

基本計画の決定（昭和47年6月）
北陸新幹線敦賀駅停車実現等期成同盟会設立（昭和47年9月）①



1982

整備計画の当面見合わせが閣議決定（昭和57年9月）

1987

整備新幹線凍結解除が閣議決定（昭和62年1月）



2005

南越・敦賀間の工事実施計画認可申請（平成17年12月）

2012

金沢・敦賀間の工事実施計画（フル規格）の認可（平成24年6月）

2020

北陸新幹線新北陸トンネル開通（令和2年7月）②
北陸新幹線敦賀開業が1年遅延決定（令和2年12月）

2023

北陸新幹線レール締結式（令和5年5月）
北陸新幹線車両基地見学会（令和5年7月）、敦賀駅舎見学会（令和5年8月）
北陸新幹線W7系試験車両歓迎セレモニー（令和5年10月）③

2024

北陸新幹線 金沢—敦賀間 開業 （令和6年3月16日）



春の訪れを感じた3月16日、敦賀市にとって、約半世紀にわたる悲願であった、北陸新幹線金沢—敦賀間が開業しました。北陸新幹線敦賀開業は、昭和47年の整備計画決定以降、一部ルートの変更や事業費・事業期間の変更など、様々な苦難を乗り越え、約半世紀という長い長い時間を経ての開業となりました。開業当日、敦賀駅では、開業式典と出発式が行われました。開業式典では、斉藤鉄夫国土交通大臣をはじめ、多数の来賓や関係者、式典の主催者である長谷川一明（JR西日本代表取締役社長）らが出席し開業を祝いました。また、市内小学校に通う岩野真歩さんと内角瑠那さんから、浦松義幸運転士に花束が贈られました。

「かがやき502号」が発車。開業式典や出発式の参加者をはじめ、一番列車を一目見ようと駅のホームに訪れていた大勢の人々全員で見送りました。東京駅を出発した一番列車「かがやき501号」が午前9時34分に敦賀駅に到着しました。2階コンコースでは、おもてなし担当として、福井伝統工芸アイドルグループの「くぐら」とのメンバーや若狭路女将の会わかさ会の方々、関係者によるお出迎えや、開業記念饅頭や観光パンフレットの配布が行われました。

